



村章

広報 なまじん

毎月1日発行

1990年

9月

No. 178

世界のナキジンチュ歓迎の夕べ



世界各国から今帰仁村出身者も迎えて歓迎の夕べを開催

めんそうれ世界のナキジンチュ 歓迎の夕べと村まつり楽しむ

「第11回今帰仁村まつり」のメインゲストとして、世界のウチナンチュ大会参加のために帰郷なされた外国在住の今帰仁村出身者が今帰仁村に招かれました。アメリカのロサンゼルス在住で二世の仲松夏江さん（六十四才、古宇利出身）は、「夢にまでみた今帰仁の皆さんに会い、人情・歴史・自然に触れ、故郷の良さを満喫しています。八月二十四日の世界のナキジンチュ歓迎の夕べ、二十五日は村内視察と今帰仁村まつりにも参加させていただき、本当にいい思い出ができました。感激でいっぱいです。子や孫たちに今帰仁のこと、沖縄のこと、特に温かい心をもった人々のことを伝えたい」と語り、ふるさと今帰仁との絆をより一層強くした。

今帰仁村の人口

平成2年7月31日現在



男
4,809
(-4)



女
4,883
(+4)



世帯数
3,045
(+4)

村の人口 9,692(+5)

乳幼児の理解

父母と保母が参加学ぶ 上間久武先生を招き保育講習会



▲豊かな教育経験からわかりやすく講演する上間久武先生

村保母の会主催の保育講演会がこのほどコミュニティセンターで開かれた。講演会は、名護市教育委員会学校教育課長の上間久武先生を迎えて「乳幼児期の理解」と題して行われ、保育園児の父母と保母が出席し熱心に聞き入った。

登校拒否の要因と対策

講師の上間久武先生は、学校現場で起こるいろいろな事例を取り上げ、近年社会的にも大きな問題となっている登校拒否児童に対し、その要因と対策について話された。

要因としては、乳幼児期の家庭環境と深くかかわりがあり、母親が子供に対し、完璧を望んだり、父親が仕事一途で子供をかまわない。あるいは、夫婦の不仲などがある。乳幼児期の子育てに親がどのように対応しているかは、子供の心身の発達に大きな影響を与えている。

また、登校拒否を起こし易い幼児は、母親との分離不安、あるいは、生活体験欠乏によって起こる友達と遊べないことが原因となることもある。その対策としては、もともと社会性を身につけさせる。兄弟あるいは、隣近所の人、従姉妹など多くの人とふれあい、遊びの体験を増やす。その中から共感することを覚え共有する喜びを体験させることが大切である。

たくましい子供を育成する

大脳生理学者の時実利彦教授の説によると、たくましい子供を育成するには、大脳の古い皮質（経験脳）を鍛えることが良いとされている。古い皮質（親からゆずり受けたもの）の鍛え方としては、

- 一、スポーツやお手伝い、お稽古事など体験や行動を通して鍛える。
- 二、基本的な躰をきびしく身につけさせる。
- 三、物を贅沢に与えないで大切にすることを教える。
- 四、過保護、甘やかしはしない。

それに、新しい脳の皮質を鍛えることも大事だとされている。本の読み聞かせ、あるいは、よい音楽を聞かせて、子供の感性を育て、思いやりの心、やさしさを育てる。

脳細胞は、三才までに八十%がつくられ、二十才で完成されるといわれているように、乳幼児期にほぼできあがるその大切な乳幼児期を大人が正しく理解していることは、子供の将来にかかわる大事なことがある。

就学前幼児へは、親が過度な不安を見せない。自立心を伸ばす工夫をする。友達のできにく



▲「3才で脳細胞の80%はつくられる」父母と保母の役目は重要

躰の心得

ア・イ・ウ・エ・オ

躰のコツとしては
ア……………あせらず
イ……………いからず
ウ……………うろたえず

情操教育は世代間交流から

母と子とおとしよりが玩具づくり

与那嶺では、子供達とおとしよりとのふれあいの場をもとに、ユニークなサークル「あさぎ会」を発足した。乳幼児をもつ母親たちで、子供の情操教育を目的にサークルは結成された。

第一回目は八月五日与那嶺の中心にあるあさぎ前広場で、おじいちゃん、おばあちゃん達との手作り教室が行われ、竹やあだん、ワラなどを使った昔ながらの玩具作りに約百名が参加した。

カマや小刃などを使い、工夫しながら作った水でつぼや紙でつぼや、あだんの葉で作る風車やハト、そしてワラの束を見て、「これは枯れ木？」と尋ねた子供達が一瞬懸命手ほどきを受けながら縄を編み、その縄で作ったぞうりに子供達は、目を輝かせていた。また若いお母さん達が初めて挑戦した薪で炊いたジュシーごはんを、香ばしい「ハサバー」（芭蕉の葉）で包み、民生児童委員の金城新治さんから昔なつかしい「ハサバー弁当」の説明を聞きながら初めての味に子供達はおいしそ



▲世代間の交流は子供と大人と社会をよくする

会」では、こうしたふれあいを通して、字の子供達が心豊かに育つことを願い、おとしよりから戦争の話や与那嶺にまつわる民話や昔話を聞くことを計画している。

決 議

古宇利～運天間ルート 21世紀へ架ける夢の大橋 古宇利架橋推進協議会

今帰仁村古宇利架橋建設促進協議会一委員72名（上間博安会長）では、7月30日午後2時から中央公民館において、協議会を開いた。協議会では古宇利島を含めた今帰仁村の振興を促進するため、運天と古宇利島を直接結ぶルートについて協議したところ全会一致で決議されました。決議の内容は次のとおり。

古宇利～運天間ルートの決議

古宇利島は、本島（運天）からわずか1.5km程度の距離に位置するにもかかわらず、離島のもつ自然的・地理的条件の不利は、本島と比較して、産業・経済・医療・教育文化等の各分野においても、格差は依然として大きいものがあります。離島苦（例えば、さとうきび搬出期や強風時の交通遮断等）の隔絶性を根本的に解消するためには架橋による本島との一体化が、不可決なものと言えます。

協議会も発足依頼、目的達成のため、架橋建設促進村民総決起大会等を行い、要請を積み重ねてきました。

平成元年12月の村定例議会においては、古宇利～運天間架橋建設に関する要請決議が全会一致で議決され、国・県等に要請してまいりました。

更に、架橋建設促進に際しては、要請のみにとどまることのないように村は、6月11日付けで、古宇利島の振興開発計画も含めた架橋予備調査を発注しており、今後は、具体的な計画書等も含めた要請を行なっていきたいと思います。

当協議会においても、古宇利島は、今帰仁村の行政区にあるという基本を踏まえ、島民あるいは村民の夢の架け橋となる架橋建設の早期実現を熱望して、古宇利～運天間ルートの決議をします。

選挙管理委員・補充員決まる

委員長に嘉陽宗武氏

任期満了に伴う村の選挙管理委員・補充員が決まりました。これは、「地方自治法第百八十二条、選挙管理委員は、選挙権を有するもので、人格が高潔で、政治及び選挙に関し公正な意見を有するものの中から、普通地方公共団体の議会においてこれを選挙する」と定めた規定により、村議会で選挙を行い選任されたもの。新委員長は嘉陽宗武氏、委員・補充員は向こう四年

間の各種選挙の任務にあたります。新しい委員・補充員は次のとおり。

委員

嘉陽宗武（湧川一八五一番地）
玉城善達（古宇利一八〇番地）
真栄田義男（越地一八番地）
西平守福（天底一〇二番地）

補充員

金城新治（与那嶺八八番地）
与那嶺功（平敷五六五番地）
玉城光盛（謝名九八番地）
名嘉山良英（湧川五八八番地）



西平守福氏 真栄田義男氏 玉城善達氏 嘉陽宗武氏

あなたの善意が人材育成に！ 村育英会資金造成チャリティゴルフ大会

期日 9月26日・27日・28日・29日 参加料 1,500円
場所 本部グリーンパークゴルフ場（電話48-3333）
表彰 グロス優勝～500位、豪華商品多数
※チケットのお買い求めは学校教育課育英係まで
電話56-2645・56-2647

エ……………えこひいきをせず
オ……………おこらず
をお母さんが心得ているとよ
いと思う。
上間先生はさらに、ストック
ホルムの学校の例をあげ、けん
か、ケガの時の親の対応、言葉
かけなど具体例を示しながら話
された。「子供は親のものではな
く社会のもの」である。両親や
家族だけでなく、社会全体で責
任を持って、慈しみ育てる必要
があると述べ講演をした。

スポーツ・Sports・スポーツ・Sports・スポーツ・Sports

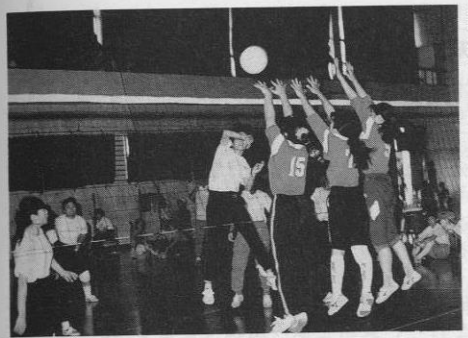
仲宗根二年ぶり総合優勝 第46回 村球技・格技大会

「第四十六回今帰仁村球格技大会」が村体協(大城勝会長)主催で八月五日午前八時三十分から北山高校体育館を主会場に今帰仁中学校、兼次中学校の各会場で行われた。

種目は男子・女子バレーボール、男子・女子バスケットボール、沖繩角力、江戸相撲で延べ二十五チームが出場し、熱戦を展開した。

結果は、仲宗根チームが実力を発揮、総合優勝を飾った。なお、一昨年、昨年と総合優勝を続けた湧川チームの三連覇は惜しくも実現しなかった。

- ◎総合成績
- 優勝—仲宗根(三十点)
 - 準優勝—湧川(十一・五)
 - 三位—今泊(十一・五)
 - 四位—天底(十・五)
 - 五位—謝名・越地(八・五)
 - 六位—古宇利(七・五)
 - 七位—勢理客渡喜(五)
 - 八位—与那嶺・仲尾次(四・五)
 - 九位—兼次・諸志(三・五)
 - 十位—崎山・平敷・玉城・具



仲宗根のエースアタッカーの力強いスパイク

我山(一点)

◎種目別の成績は次のとおり。

- 男子バレーボール 優勝—天底、準優勝—今泊
- 女子バレーボール 優勝—湧川、準優勝—仲宗根
- 男子バスケットボール 優勝—仲宗根、準優勝—勢理客・渡喜
- 女子バスケットボール 優勝—仲宗根、準優勝—謝名越地
- 沖繩角力 優勝—仲宗根、準優勝—今泊
- 江戸相撲 優勝—仲宗根

村少年野球大会

今泊が優勝

“殊勲賞に新里竜次選手”

村教育委員会主催による「第二回村少年野球大会」が、八月十二日北山高校と兼次中学校のグラウンドで行われた。

チームが出場。午前九時から組み合わせ抽選、開会式に次いで、午前九時三十分から熱戦が展開され、今泊ホープが優勝した。



賞状を手に喜びの今泊チーム

スポーツの普及につとめる 区長会がグラウンドゴルフ大会

日頃から業務の忙しさに運動不足がみられる村内十九ヶ字の区長が、健康づくりと会員の融和をはかり、地域づくりに取り組みことをねらいに「第一回今帰仁村区長会グラウンドゴルフ大会」(村区長会主催)を七月二〇日開催した。

大会は猛暑のつづく炎天下、目にもあざやかな芝生の敷きつめられた総合運動公園ホッケー場でOBを含む二五人の選手が参加して行われた。



平良清松選手の選手宣誓

活動を強化しよう

農協婦人部総会 新役員決まる

農協婦人部の平成二年度通常総会が、八月七日午後二時から農協本所会議室で行われた。総会には会員九十一人の外、渡慶次道正農協専務、上間博安村長が出席し、平成元年度事業報告

とりまく社会環境は、一段と厳しくなっている状況にあります。就労婦人が増加する中で組織活動も大変むづかしくなっています。農協婦人の地位向上と、よりよい、豊かな生活の安定を築くためには、ともに学び農協をより処として、平成二年度の事業計画に添って、新役員一同一生懸命頑張っていきたいと思



▲新年度事業について審議する会員

恒久平和を実現していこうと毎年開催されているもので、上間博安村長や山城春吉遺族会長をはじめ、議会議員、区長、各団体、遺族会員ら約二〇〇人が列席しました。一分間の黙とうの後上間博安村長は「先の大戦で私たちは、生活・文化・自然など先祖代々築きあげた多くのものを失い、さらに何よりも大切な尊い生命を犠牲にしました。その中から得たことは、戦争は総てのことにおいて、破壊のみをもたらしたという体験と教訓であります。二度と戦争による犠牲者を出さぬよう反戦を村政の柱として、平和実現に努めます」と述べました。

次いで、山城春吉遺族会長も「世界の現状には、今なお、誠に厳しいものがあります。諸霊の残された尊い御教訓をよくかみしめ、世界平和実現のため努力することを強く堅くお誓い申し上げます」とあいさつしました。

「平成二年度今帰仁村平和祈願祭」が七月二〇日午後二時から村慰霊塔前で行われました。

祈願祭は、戦没者の霊を慰め



▲平和を願い戦没者の冥福を祈る参列者

このあと、山城辰雄議会議長、屋原秀沖繩県遺族連合会長の追悼のことがあり、それぞれに戦争を否定し、世界平和実現の決意をあらたにしていました。

沖繩県救助大会で全種目入賞

九州大会に二種目出場 本部町今帰仁村消防組合

での九州大会へ派遣された。当消防組合は救助関係においては沖繩県でもトップクラスにあり、今年も遺憾なく実力を発揮した。九州大会には団体の部

沖繩県大会の成績 (団体の部) ○応用登はん—優勝

- 金城満、島袋重則
- ロープブリッジ救出(A)入賞 仲村清隆、平良剛、比嘉良春、崎浜秀昭
- ロープブリッジ救出(B)入賞 仲村寿夫、山城好幸、宮城健一、島袋勝
- ほふく救出(A)入賞 新城満、嘉数照光、川上正尚
- ほふく救出(B)入賞 湧川健一、川上勉、与那嶺智
- (個人の部) ○ロープブリッジ渡過—準優勝 島袋勝
- ほしご登はん—入賞 崎濱秀茂

しめやかに 平和祈願祭 世界平和のために 誓

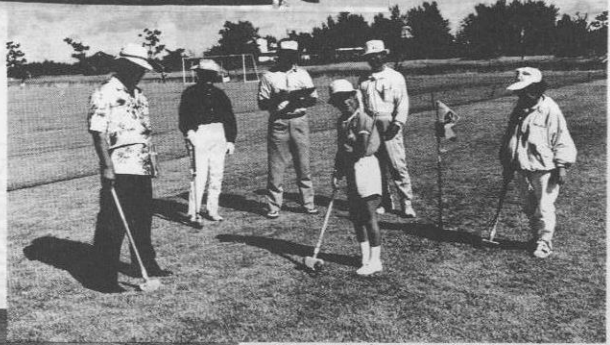
Enjoy & Happiness

第11回 今帰仁村まつり

世界各国のナキジンチュモ参加!



▲世界のナキジンチュモふるさとのまつりでEnjoy & Happiness



▲グランドゴルフは小学生から60代までワキアイアイと

恒例の今帰仁村まつりが8月25、26両日、総合運動公園を中心に盛大に開催された。村まつりは、今年で11回目を迎え、おとしよりから子どもまで多くの人出で賑った。特に今回はブラジルのナキジンチュモ、アメリカ、イギリスから世界のナキジンチュモも参加し、ふるさとのまつりを堪能した。

25日午後5時から開会式があり、開会宣言のあと祝砲と同時に上間博安実行委員長と山城辰雄、仲原孝夫両副委員長によりテープカットが行なわれた。上間実行委員長は「まつりに結集した村民の熱意と努力を大切に、村の発展につなぐよう、ともに頑張りましょう」とあいさつ。

初日は闘牛大会、我如古盛榮民謡グループ、鶯組、長浜会による民謡、比嘉美枝子琉舞研究所の琉球舞踊、生活改善グループによる菜園コンクールなどの催しがあった。

2日目は国頭郡サッカー競技大会をはじめ、グランドゴルフ大会、ウナギつかみどり大会、チビッコ相撲、エイサー、今帰仁アマチュア無線クラブの講開運用と無線免許取得相談コーナー、ミニ四駆駆動レース大会などが行なわれた。

まつり会場では盆おどりで、最高潮を達し、大輪の花火が夏の夜空を彩り、集まった観衆から、さかんに歓声が上がった。

参加!



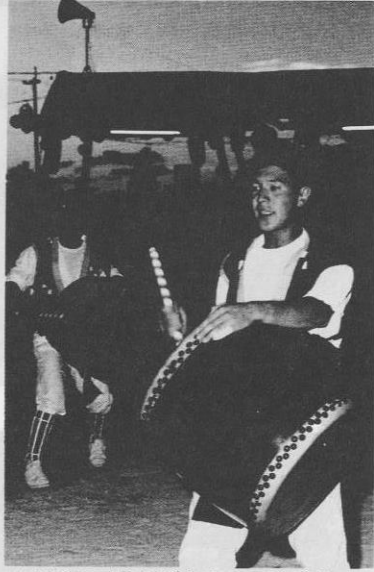
▲上間実行委員長、山城、仲原副実行委員長によりテープカット

▲天候にも恵まれ例年になく大勢の人々が集った

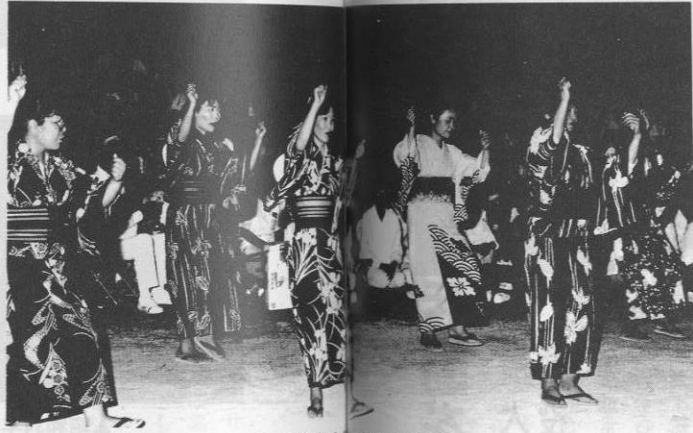
▼闘牛大会は好取組の連続でエキサイティング



▲福祉バザーに多くの人が協力



▲力強いバチさばきカッコイイネ



▲盆おどりでつりも最高潮



▲まつりはヤキトリが一番



▲長浜会の歌に会場から大きな拍手



▲村まつりを全国へアピールする今帰仁無線クラブのメンバー、北海道からもお祝いのメッセージが



▲サッカーは郡球格技大会の一環で開催



▲アラレちゃん音頭は楽しい



▲比嘉美さんがカラオケコンピオンとして上間副委員長より表彰

▲チビッコ相撲は波喜仁が初優勝



▲まつりに花を添えた我如古盛榮民謡グループ

写真にみる今帰仁④

運天港と運天のムラウチ集落

運天港あるいは運天のムラウチの集落に焦点を当てた、明治後半から戦前にかけての写真、さらに昭和三〇年代に撮影された印象深い写真が数点ある。その中から二枚と現在の写真を中心に、運天の移り変わりをみていくことにする。

一番上の写真は、『望郷沖繩』に掲載された運天港の写真である。まず、目にとまるのが海上に浮かぶ帆をたてた山原船と海岸の護岸、そして数本のコパティシである。コパティシの一本は、現在でも健在である。画面には写っていないが、左手に今帰仁間切(村)役場(番所)が、まだ運天にあったところである。運天港とは言うものの、船をつける桟橋がない時代である。当時、運天港では船を横付けできる施設がなく、山原船や大和船は沖に停泊させ、小舟で荷の積み下ろしをしていた。船着き場の突堤ができたのは、昭和三四年になってからである。また、ウツバジ付近の崖に白く見えるのはザフンで造られた墓である。現在でも、壊れ



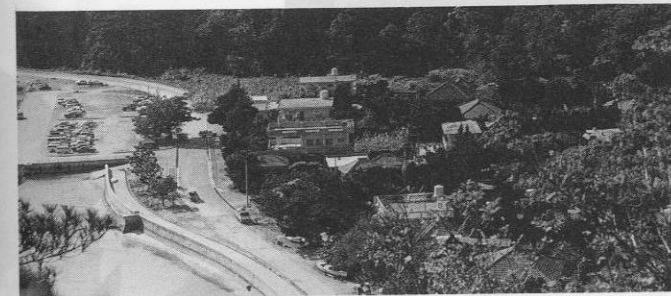
▲明治の姿をとどめる運天港(『望郷沖繩』より)

かけた墓があり、その多くは調査もされないままブロックで閉じられてしまった。一八一六年に琉球を訪れたパジル・ホールは、『朝鮮・琉球航海記』で運天について「道路は整ってきれいに掃き清められ、どの家も、壁や戸口の目の目隠しの仕切りは、キビの茎を編んだござっぱりとしたもので



▲昭和34年(1959)頃の運天港と集落

あった。浜に面したところには数軒の大きな家があって、多くの人々が坐って書き物をしていた……村の正面には海岸と平行して、三〇フィート(九メートル)の幅をもつすばらしい並木道があった。両側からさし出た木々の枝は重なりあって、歩行者をうまく日射しから守ってい



▲昭和61年(1986)の運天港と集落

る。そこに木のベンチが置かれ、木のそばには石の腰掛けをしつらえた場所もいくつかある」と記し、その描写と写真の風景がいつもだぶってくる。二番目は、運天森(源為朝公上陸跡の碑のあるところ)から撮影した運天港と運天のムラウチ集落の写真である。中央部にトンネルへつながる道路があり、茅葺屋根と瓦葺屋根が半々に見られ、高度経済成長へと入っていく時代である。戦前に比べると、屋敷を囲む福木並木が大分少なくなっている。番所(役場)跡地には数軒の家が建

ち、海上にはエンジン付の船が見え、古宇利島との渡し船だらうか。三番目の写真は、昭和六一年にウツバジの上にある運天展望台から撮影したものである。海岸が埋め立てられ、護岸が積み重ねられていたところは、強固なコンクリートの提防ができ、現代的な整備がなされている。民家は、茅葺屋根から瓦屋根となり、さらにスラブの家へと移り変わっている。かつて、数本あったコパティシの大木が一本残り、新しく植えられた木も見える。番所(役場)のあった周辺には福木の太木があり、かつての風情を僅かながら忍ばれる。

運天のいくつかの写真を見てみると、かつてあった古い風景が写し出された写真ほど胸をうつ。それは、なんだろうかといつも考えさせられる。単に懐かしさや思い出の風景があるというだけではない気がする。人工的な物が目立たない、あるいは自然がおりなす美しさ、さらには運天港が果たしてきた歴史的な背景が、語らずして私たちの胸に訴えているのではないだろうか。「開発も自然との調和だ」と叫ばれて久しいが、回りを見回すと、それとは裏腹に人工物の氾濫である。仲原弘哲(歴史資料館準備室)

伊万里サマキャンプと今泊子ども会が交流会 友情の輪広がる 佐賀県に5人招待

七月三十一日今泊子ども会(団員八十一名)と佐賀県伊万里サマリーキャンプの皆さんとの交流会が行われた。今回で二回目を迎えたこの交流会は、今泊にある沖繩光武病院の院長光武俊和氏が伊万里の出身であり、それにサマリーキャンプを主催する伊万里市青少年育成市民会会長の堀田博雄氏(堀田病院理事長)が若い頃から友人であることから実現した。サマリーキャンプの一行は五泊六日の沖繩の旅の初日に今帰仁村を訪れ交流会に臨んだ。

会場となったリゾートホテルハヤシでは、今泊の子ども達をはじめPTA、区民が大勢参加。両者の代表による花束贈呈のあと、比嘉伸吾くん(今泊子ども会会長)が歓迎のことばを述べ上間真樹子さん(今泊児童会会長)が今帰仁村の歴史と現況を紹介、伊万里市からは特産の伊万里焼の花瓶が訪問記念として贈

呈があり、また、今泊子ども会からも、交流記念として胡差焼のシーサーが贈られた。第一部の出会いのセレモニーに引き続き行われたアトラクションでは、「伊万里行進曲」が披露され、今泊は「メンソーレ沖繩」と「安里屋ユンタ」を父母も一緒に踊った。会が進むにつれ、子供達も互いにとけこみ、アドレスメッセージやプレゼントの交換で楽しい交わりの時をすごした。交流会もクライマックスを迎えたところで全員が肩を組み、今「交流会、ホームステイと友情はさらに深まる日」の日はさようならを大合唱、再会を誓った。わずか二時間三十分の短い時間ではあったが子供達の心の中にいつまでも残る、楽しい交流となったことでしょう。

今年は今帰仁での交流にとどまらず、今泊子ども会の小学生三名(比嘉伸吾、玉城智也、玉城優)、中学生二名(上間真樹子、仲宗根りか)が伊万里市青少年育成市民会議のご好意によ



タクスコーナー 税について 考えてみませんか No.4

今 回は、村民税の納税の方法と、課税状況(所得別の納税義務者数、課税額)についてお話ししたいと思います。

そ れでは、まず村民税の徴収の方法について説明しましょう。

個人の村民税の納税方法には、普通徴収と特別徴収の二つがあり、そのいずれかによって納税することになります。

事 業所得者などの村民税は、納税者に通知され、通常六月、八月、一〇月、翌年の一月の四回に分けて納税していただきます。これを普通徴収といいます。

給 与所得者の村民税は、特別徴収税額通知書により、村から給与の支払者が毎月の給与の支払の際にその人の給与から税金を天引きして、これを翌月の一〇日までに村に納入していただくことになっています。

これを特別徴収といい、給与の支払者を特別徴収義務者とよんでいます。

な お、給与所得者であっても特別徴収ができない方は、普通徴収によって村民税を収め

つ ぎに、村民税の課税状況(所得別の納税義務者、課税額)について説明します。

平成二年度当初の村民税の納税義務者数は、一八五六人となっています。うち、給与所得者が一五三四人(八二・七%)、営業所得者二九人(七・〇%)、農業所得者一三四人(七・二%)、その他の事業所得者三五人(一・八%)、その他の所得者二四人(一・三%)となっています。

課 税額は、二年度当初で九、三二〇万七千円となっています。うち、給与所得者が七、九五七万八千円(八五・四%)、営業所得者四、四万二千円(四・四%)、農業所得者九、五万六千円(一・〇%)、その他の事業所得者三、四四万一千円(三・七%)、その他の所得者五、〇九万九千五百円(五・五%)となっています。

納 税義務者数、課税額ともに給与所得者にいちじるしくかたよっていることがわかります。今後、所得申告の啓蒙をほかり課税のアンバランスを解消する必要があります。

第八回今帰仁村青少年主張大会 牛乳配達から学んだこと

兼本 愛子 (今帰仁小学校)



「ねむいなー。ねむいなー」。朝、五時。いつもの牛乳配達。私は、ねむい目をこすりながら、しぶしぶ起きます。

「ブルン、ブルン」。母の車が、「がんばれー」と言っているように元気な音を出していません。私は、まだねむくてたまらないのに、車はとてはりきっています。それにつられて、いつのまにか私は車に乗ってしまっています。

私は三年生の時から、牛乳配達を始めました。今、母と妹、そして私の三人で、毎朝母の車に乗り家を出発します。母が、車を適当な場所とめると、三

人はそれぞれの家へ牛乳を届け、車のところへかえってきます。そして、また次の場所へと行きます。最初のうちは、朝五時に起きることを苦にせず、はりきってやっていたのですが、日がたつにつれて、五時に起きられないうちもありません。また、ねばけまなごです。車に乗る私達をみて、母は「ちゃんと目をさましてなさい。そんなにねむい顔してたらとる人も気分がいやになるよ」と口ぐせのようにいいます。私は、それを聞くと、「そうだ、もっと笑顔できなけりゃ。」笑顔だけでなく明るくあいさつをしなければ、とる人にしつれいだ。」と考えるようになりなりました。

家で帰ると時計は、もう七時をまわっています。妹は、時計をみながら「学校におくれるー。どうしよう。」といっています。母も、「あんたたちが、もっと早く起きれば学校におくれるし、よゆうをもつて学校にいけるのに。」と困った顔をします。それを聞くと私は、「そうだ、学校におくれるのは、私達が夜ふかしをして朝ねぼうしたためなんだ。今度からはもっと早くねて早起きしよう。」そんなことがあって私は、朝早く起きるように努力しています。「この頃早く起きるのね。がんばっているね。」と母もいつてくれるようになりました。それに朝早く起きるようになりなりました。朝早く起きるようになつてから、たくさんいいことを発見しました。

一つ目は、母と妹と三人で協力して、すがすがしい朝の中でいっしょに体を動かすことができること。二つ目は、いろいろな人と会いあいさつをかわす楽しさ。三つ目は、わがままをいわないこと。それは、冬の寒い日や雨の日になると、ちよっぴり

いやになることがあります。でも、牛乳を待っている人のことをおもうとわがままをいってはいられません。がんばってでかけます。愛子、強くなったなあと思います。学校での漢字ドリルテストや計算ドリルにもねばれるようになり、この頃、百点ホームランを続けています。四つ目は、母に心配かけないように、そして学校におくれないように、早ね早起きをするようになりま

した。楽しい、おもしろいテレビの話を学校で友達から聞きますが、みたいのをがまんしてねむるようになりなりました。

最後に、「おはようございます。もすらすらいえるようになりました。私は、今、牛乳配達をやっていたことをほんとうによかったと思います。これから、つづけていくとおもいます。がんばります。」

優勝・渡喜仁Aチーム 第十二回村老人ゲートボール大会

八月十六日総合運動公園において三十一チームが参加し、第十二回今帰仁村老人ゲートボール大会(老人クラブ連合会・宮里政新会長主催)が開催された。台風十二号の影響で時おり激しい雨の降る中、熱戦が展開された。大会は、予選三者リーグ、決勝トーナメントで行われた。日頃の練習で培った技術を遺憾なく発揮した渡喜仁Aチームが優勝した。準優勝、今泊Aチーム三位、渡喜仁Bチームであった。渡喜仁Aと今泊Aの両チームは九月二十八日名護市で行われる北部地区老人ゲートボール大会に今帰仁代表として出場する。



▲写真左から優勝渡喜仁A、準優勝今泊A、三位渡喜仁Bの各チーム

10月1日は国勢調査の日 調査にご協力をお願いします

国勢調査の調査結果から、数々の統計が作られます。どんな行政上の計画に、どんな統計が生かされているか、代表的なものを挙げてみましょう。

(1)社会福祉施策に欠かせない高齢者、母子世帯・父子世帯のデータ

急速に高齢化が進んでいる日本。国勢調査では、1人暮らしの高齢者や、高齢者のいる世帯数が地域ごとに明らかになります。これらの統計は、家庭奉仕員の確保、老人クラブの育成など、老人福祉の資料として生かされます。また、母子家庭、父子家庭のデータは、地方自治体の児童福祉、母子福祉施策の資料として生かされています。

(2)環境整備に活用される地域別人口

国勢調査では、全国計から市町村内の小地域別という小さな単位まで、それぞれの人口の統計が得られます。この人口の統計は、住みよい地域づくりに欠かせない、自然の保護や道路・住宅・上下水道・公園などの整備、町並みの保全、河川の浄化さらには清掃に至るまでの「環境整備」を考える、最も基本的な資料となっています。

(3)防災対策の基礎資料となる人口密度、人口分布

防災対策でまず必要なことは地域の状況の正確な把握です。地理的要因に加えて、人口、人口密度、人口分布の統計は欠かせません。消防設備、避難場所の設置に当たっては、現在の人口とその将来予測値が必要になります。

(4)地域発展の指標、施設計画の基準として、地域開発計画に

人口の地域的な分布、地域ごとの増減が、地域発展の指標として、また、道路・橋梁・港湾・空港・上下水道・学校・公園などさまざまな施設計画の基準として、総合開発計画の策定に生かされています。また、産業振興策には、生産年齢人口による労働力の供給の把握が不可欠です。このように国勢調査は、さまざまな地域開発計画の基礎資料として活用されています。

9月中旬から下旬にかけて、皆さんのお宅に調査員がお伺いし、調査表へのご記入をお願いします。時間はあまりおかけしませんので、どうぞご協力ください。

村青年団協議会が総会 新役員決まる

地域に求められる 組織めざす

「青少年が健全に成長できる豊かな地域社会を作ろう」を大スローガンに村青年団協議会(大城隆徳会長)の平成二年度総会が七月十七日午後七時から中央公民館で開かれた。

その中で、平成元年度の経過報告、収支決算書の承認に引き続き討議が行われ、平成二年度事業計画や予算が承認された。

また、役員の変更があり、新会長に城間肇さんが選任された。村青年団協議会では、今後組織の強化を図るとともに、地域から求められる活動を展開していくことにしている。



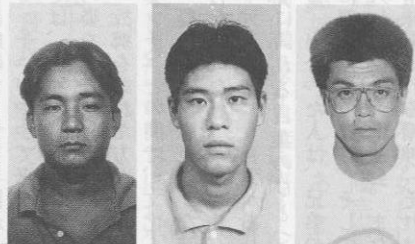
▶組織強化に取り組む村青協

村青協新役員

役員名	氏名
会長	城間肇
副会長	神谷繁之
副会長	宮里晃
事務局長	大城隆徳
書記	平良民枝
会計	伊佐幸恵
組織部長	長田光吉
女子部長	山城留利子
体育部長	金城睦

本部町今帰仁村消防 組合職員三人採用

本部町今帰仁村消防組合に八月一日付けで採用された職員です。地域住民の安全確保のため技術をみがき、村民の期待に添えるよう頑張ります。よろしくをお願いします。



島袋 正己 嘉陽 康彦 満名 康利
渡久地25-6 湧川396-1 謝花652-1

村社協へご寄附

◎島田タケさん、社会福祉に二万円。◎宮城スミさん、夫善一さんの香典返しに十万円。◎本部ライオンズクラブ、チャリティ芸能祭の収益より十万円。◎城間マツエさん、夫喜精さんの香典返しに五万円。◎松田吉永さん、母ウトさんの香典返しに十万円。◎大城千栄さん、妻邦子さんの香典返しに二十万円。ご芳志ありがとうございました。

●村民カレンダー

1990年

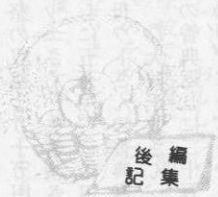
9月

長月

9/1 土	○防災の日、旧暦7月13日 ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
2 日	○旧暦7月14日
3 月	○旧盆(旧暦7月15日)
4 火	○村議会議員選挙告示 ○旧暦7月16日
5 水	○歯科健診(11:00~17:00コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン)
6 木	○はしか予防接種(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
7 金	○乳児健診(11:00~17:00コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
8 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
9 日	○村議会議員選挙投票日
10 月	○村議会議員選挙開票(8:30~コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○子豚セリ市(13:00~家畜セリ市場) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
11 火	○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○第19回畜産共進会(9:00~家畜セリ市場) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン)
12 水	○歯科健診(11:00~17:00コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
13 木	○北山高ホームルームリーダー研修 (14日まで~名護青年の家) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
14 金	○湧川小家庭教育学級(11:00~13:30湧川小) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
15 土	○村敬老会(14:00~コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
16 日	○国頭郡球格技大会、廃品回収の日 (9:00~12:00各字公民館) ○牛のセリ市(11:00家畜セリ市場) ○あけあけ大会(ウォークラリー9:00~中央公民館出発)

17 月	○兼次小家庭教育学級(11:30~13:30兼次小体育館) ○デイサービス(13:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン) ○村議会議員当選証書交付式(15:00コミセン)
18 火	○村農業委員選挙告示 ○天底小家庭教育学級(20:00~22:00天底小体育館) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
19 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(13:00~17:00コミセン)
20 木	○臨時村議会 ○今帰仁小家庭教育学級(20:00~22:00今帰仁小体育館) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
21 金	○臨時村議会 ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(13:00~17:00コミセン)
22 土	○古宇利小家庭教育学級(13:30~15:30古宇利小) ○離島フェア90(24日までコンベンションセンター) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
23 日	○村農業委員会委員選挙投票日、開票 (19:30~コミセン) ○今帰仁中運動会、兼次小運動会
24 月	○デイサービス(13:00~17:00コミセン)
25 火	○手話サークル(19:30~21:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
26 水	○村育英会チャリティゴルフ大会(29日まで本部グリーンパーク) ○子豚セリ市(13:00家畜セリ市場) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(13:00~17:00コミセン)
27 木	○北山老人大学(14:00~コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)
28 金	○9月定例村議会開会、村農業委員当選証書交付式(15:00~コミセン) ○デイサービス(13:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
29 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
30 日	○兼次中運動会、湧川小運動会 ○今帰仁小運動会 ○天底小運動会
10/1 月	○国勢調査の日 ○デイサービス(13:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
2 火	○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン)

「沖繩、人その広がりを求めて」をテーマに、世界のウチナンチュ大会が開催された。大会に向けて、世界各国からウチナンチュがやって来た。マスコミは、世界のウチナンチュたちの姿を連日映しだしている。故郷を訪れた方々と地元ウチナンチュとの間で、文化・芸能・経済など国際色豊かな交流が行なわれた。「イチヤリバチヨウデー」という言葉があり、世界に誇れる言葉のひとつである。出合った人は、兄弟のように親しくもてなし、そして受け入れるウチナー社会。また、人情味あふれる精神。それは、過去から現在へ、さらに未来へと継承されてほしいものである。人間関係が希薄になって来たといわれる昨今、ウチナーも決して例外ではない。忘れかけていたウチナンチュの心を再確認する機会になったのではないだろうか。世界に翔くウチナンチュは、私達の大きな誇りであり、その方々を通してウチナーの心が世界へ広がっていくことは、素晴らしいことである。



後編 編集